

福祉サービス等第三者評価結果

総括コメント

受診施設名	相愛保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会

平成 19 年 8 月 30 日

評価が高かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ I - 1 ・ I - 3 ・ II - 4 ・ A - 1 - (2) ・ A - 1 - (4)
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念基本方針は確立され、職員、利用者に周知されています。 ・ 管理者の責任とリーダーシップについて、子どもの成長に沿った計画的な指導や子どもへの言葉がけなどが全職員に浸透しており、発揮されているのが確認できました。 ・ 地域との交流と連携は、育児相談会の毎月開催に見られるように、積極的に行われています。 ・ 子どもの健康管理、食事についてのマニュアルが整備され、園内の畑での作物栽培に見られるように、食育に対して積極的に取り組んでいます。 ・ 保育士が、ゆったりとした雰囲気の中で、丁寧かつ受容的に子ども一人ひとりと接している様子が伺えました。
改善努力を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ・ I - 2 - (1) - ② ・ I - 2 - (2) - ①、② ・ II - 1 - (1) - ① ・ III - 1 - (2) - ①、② ・ A - 2 - (1) - ③
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画が、単なる行事計画表でなく法人の経営方針が反映されるものを作成されるとよいでしょう。 ・ 事業経営を取り巻く環境の情報やニーズの整理分析をさらに進めるとよいでしょう。 ・ 保護者との情報交換については、保護者アンケートの実施や年長児以外の個別の懇談会を実施するとよいでしょう。
総括コメント	<p>子ども達の情緒の安定と暖かい心を育むことを目標に、愛情深い保育実践が行われています。</p> <p>保育者主導に陥りやすいマーチング練習の場面においても、子ども達は自発的に生き生きとした表情で取り組んでいます。また、子ども達が自然や食に対する関心を高めるとともに、豊かな感性を伸ばしていくという保育実践として、野菜や果物の栽培・収穫を行っています。</p> <p>地域においては育児相談会を毎月独自で実施するなど、社会的役割を果たしています。</p> <p>保護者ニーズの把握については、現在年長児にのみに設定されているクラス懇談や個別懇談を全園児対象とし、保育実践に反映されることでさらなる保育内容の充実が図られることでしょう。</p> <p>全般的には、保育に対する情熱や研鑽が伝わってくる第三者評価でした。</p>

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	相愛保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年8月30日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

理念・基本方針は確立され、職員への周知徹底も行われている事が会議議事録などより確認出来ました。
 理念・基本方針の利用者への周知についても、入園のしおりやホームページで行われています。
 事業計画においては、単なる行事計画表ではなく、法人の経営方針を反映させるとなおよいでしよう。
 管理者の責任は明確にされ、重要な案件・連絡事項などは、毎月の職員会議のなかで周知されています。
 また、子どもの成長に沿った計画的な指導や、保育士の共通した子どもへの関わりなど、管理者のリーダーシップが発揮され保育方針が保育実践に反映されています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

必要な情報やニーズは収集されていますが、事業経営に係る整理分析により新たな取組みへの検討材料として活用できるよう整備されるとよいでしょう。

地域との関わりとして育児相談会を毎月開催し、子育て中の家庭の方たちへの相談や交流を行っています。園児の散歩時に公園などでチラシを配布するなどして地域住民への告知を図っています。

利用者の安全対策として、オートロックや防犯カメラ等を設置しています。

職員の福利厚生への積極的取り組みや客観的な基準に基づく人事考課の実施などの取り組みを行っています。

職員教育・研修は、職員ヒアリングによって必要な個別の研修計画の作成を作成し、評価・見直しも行っていきます。今後、園の目指す保育サービスを実施するための研修に関し基本姿勢を明示、全職員に周知されるとなるとよいでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

【自由記述欄】

保育サービスの基本姿勢を明示しています。子ども一人ひとりを受容し、子どもが安心して生活できる環境が持てるように毎朝の小会議と毎月の定例会議を通じて、職員間における共通理解を促進しています
 保育・給食参観など保護者が参加出来る行事を実施しています。懇談会は年長児のみの実施のため、全年齢の懇談会を実施することで、さらに保護者の意向を反映できるでしょう。
 さまざまな保育場面において標準的な保育の実施方法が文書化され、子ども一人ひとりの保育サービスの実施状況記録が、具体的かつ丁寧に
 行われています。
 保育サービスの提供及び継続性は指導計画に反映し、配慮しています。観察記録についても丁寧に記述しています。園児に対するアセスメントも適切に行われており、それをもとに保育上の課題等を明確にしています。今後、分析や検討過程等を文書化されるとな良いでしょう。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	相愛保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年8月30日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

子どもの育ちや実態を反映した指導計画を作成しています。また計画した保育を適切に実践したかについて評価・反省を行っています。健康管理、食事などの具体的方法についても文書化し、それに基づいて実施しています。子どもの喫食状況を毎日記録管理しています。また、子どもの食生活を充実させるための取組を家庭と連携をとりながら実践しています。園の畑では、子ども達自身が栽培、収穫するとともに、ときに実際の献立材料として取り入れています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

子どもが心地よく過ごすために、保育室はきれいに整備されています。食事から片付け、午睡への流れもコーナーあそびを利用するなどして、子どもに無理なく進められています。保育士は、ゆったりとした雰囲気の中で子ども一人ひとりを受容し、丁寧に接している様子が伺えました。子どもの人権への配慮や性差への配慮も行われています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

調理場、水まわりの衛生管理など食中毒の事故防止についてのマニュアルと遊具事故防止のチェックリストがあり、職員に周知されています。また、虐待の早期発見に努め、いつでも対応できるように関係機関と連携体制を確保しています。家庭の状況や保護者の情報は必要に応じて記録・活用されています。今後、保護者アンケートや現在実施している年長児の個別懇談を全園児に拡充することで、さらなる保護者との協力・信頼関係の構築が図れることでしょう。